

会議録

会議の名称	男女平等推進センター企画運営委員会 平成27年度 第14回
開催日時	平成28年1月7日(木曜日) 午後6時00分から午後8時00分まで
開催場所	男女平等推進センター1階活動室
出席者	委員：吉田委員長、白井副委員長、斎藤(三)委員、本橋委員、田崎委員、加藤委員 欠席：斎藤(博)委員、田村委員 事務局：杉山係長、渡邊主査、編集委託(富山)
議題	(1) 第13回企画運営委員会会議録の承認について (2) 情報誌パリテ16号の編集について (3) センター事業企画の講座について (4) 今後の会議日程について (5) その他
会議資料の名称	① 第13回企画運営委員会会議録(案) ② 情報誌パリテ16号色校
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○会議内容</p> <p>《開会》</p> <p>1 議題</p> <p>(1) 第13回企画運営委員会会議録の承認について</p> <p>○異議なしによって承認する。</p> <p>(2) 情報誌パリテ16号の編集について</p> <p>事務局 色を2色用意したがいずれがよろしいか。</p> <p>○委員の多数決に従い基調のカラーは、ワインレッドにしたい。</p> <p>事務局 特集本文から検討いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リード文が解りにくい気がする。文の提案をさせていただきたい。文省略 ・津止氏を津止さんに統一する。 <p>事務局 よろしければ、リード文の文章をいただけるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言い切りの部分、ですます調にした方がよい。 ・男性のうしろ姿の写真はなくてもよい。 ・男性介護者の孤立化をなくせの後に続く文章は、箇条書きにする方がよい。 	

- ・①真面目すぎる ②成果を出そうとする。 ③SOSを出すのがと下手とくくって説明した方が分かりやすい。
- ・自ら孤立化を深める男性介護者の文章は、突然すぎる部分と回りくどさがあり、スッキリと入ってこない。要は男性介護者いわんや男性は自分自身の「男」のイメージとの格闘なのですからを言いたい。
- ・新しい価値の発見はよく分かる。
- ・次の希望を感じさせるサポートでは、希望を見出すための具体的なイメージが持ちにくい。事例などがあればそれを載せた方がよい。文章も内容が重複しているので整理して、回りくどさをなくす。
- ・大幅に文章を変更させて、具体的事例を入れたり先生の言いたいことを、インタビューを聞かなかった人でも分かりやすく伝えることが大事では。
- ・615万人の意味がもう少し伝わりにくい。介護を必要とする人の家族関係者を加わえるとおびただしい人数だという事を端的に表現してほしい。

事務局

先生がこんなエピソードを話されていた。妻を介護する男性介護者が、妻が昔好きだった果物を買って帰った。妻は固形物が食べられなかった。がっかりしているとそばにいたケアマネージャーが、「二人にはその果物に楽しい素晴らしい思い出があるということですね。とても素敵なお話じゃないですか。」といわれ、その男性は救われた思いだった。といった内容であった。

- ・そうそれがまさに表現として求めていること。

事務局

文章が長くないか。

- ・はじめに振り返って、男性介護者が急増している事実が、今一わからない。要点を整理していくと文章が短くなる気がする。
 - ・グラフが内容を示していない。年代の選定が近すぎないか。文章の趣旨とあっていない。嫁・妻の割合がグッと下がっているという社会状況の変化が、このグラフでは見て取れない。
 - ・要は、その場に居合わせた者が性差なしに介護を担わざるを得ない現状にあることを認識させること。
 - ・直に交流できる場を増やすでの表現が的を得ていない。100か所が多いのか少ないのか解りにくい。全国の自治体の数を入れて対比するのはどうか。
- 処々の指摘があるが、要約すると重要なのは分かりやすい校正してもらおうということ。

事務局

パリエインフォメーションについてはどうか。

- ・文字が多い気がする。ちょっと斜め読みしたくなる。
- ・下段の文章の中に、イラストと一緒に表記されている内容が重なっている。イラストとのセット表記のみで良い。

事務局

ステキに男女平等参画はいかがか。

- ・本人の写真をもう少し大きくして良い。
- ・バスは大型か。はなバスは小さいので、適当な表現かどうか疑問。
- ・路線バスとしたらどうか。
- ・文全体がギュッと詰まって読み飛ばしてしまいそう。表現を整理してみた方がよい。

事務局

編集に関してはまた手直しをして、メール等の連絡により確認をしていくのでよろしくお願ひしたい。続いて、センター事業の企画について2案が提出されているので、検討願ひたい。

(3) センター事業企画の講座について

- ・男塾を提案する。西東京市に在住の笙奏者に人生哲学と長年の地域活動を紹介しながら、一市民の視点で西東京市の変遷を伝えていただくを連続講座の第1回、「雅楽の世界」へのいざないを第2回として、東京芸術大学の学生とご本人に装束をまよつての雅楽演奏をお願ひする。開催場所は住吉会館4階の大広間。

事務局

場所が大広間であるとする、日曜日開催に限られるがよろしいか。

- ・第3回目、地産地消の地域活動をすすめている西東京市地産地育会の副代表に今年もお願ひする。地粉・地場野菜を使って手打ちで「ほうとう」を作る。今まで男塾の最終回には、有志の食事会を開いてきたが、今回はここをそれに充てたいと考へる。
- ・おもしろい企画ではあると思うが、奏者を呼ぶなど予算面で考へが必要とならないか。
- ・できるだけ予算の範囲で収まるよう、交渉をしていく。

事務局

提案がもう一つある。

- ・男女共同参画週間事業であるが、男性学を取り上げたいと思う。武蔵野大学社会学部助教に適任者がいる。現代社会の問題として、女性が活躍できないその裏に、男のおかれていた状況を見つめ直さなければならないことがあると思うが、そこを聞いてみたいと思う。
- ・男女平等を男性自身の視点で見るといふ事が少なかったと思う。興味ある講座だと思ふ。

○二つの案を委員の賛同があつたので、事務局に準備を進めていただきたい。

(4) 今後の会議日程について

○次回委員会は平成28年2月12日(金)午後6時からとする。

(5) その他

事務局

4月に懇談のつどいを開催することとしたいが、日程を決めたい。

○平成28年4月9日(土)午前10時～正午とする。

以上

《閉会》